

日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会 水化学管理分科会
第 35 回 BWR 水化学管理指針作業会 議事要旨

日 時：2015 年 10 月 1 日（木）13:30～17:30

場 所：電中研大手町本部 第 3 会議室

出席者：(敬称略)

委員) 平野、北島、葛巻、中山、河合、植村、中野、小野寺、河村、浦田 以上 10 名
オブザーバー) 久宗 (原電)、中野 (中国)、太田 (日立 GE)

配布資料

P11BWG-35-1：第 34 回 BWR 水化学管理指針作業会議事要旨 (案)

P11BWG-35-2-1：一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会 第 33 回システム安全専門部
会議事録 (案)

P11BWG-35-2-2：一般社団法人 日本原子力学会 第 62 回標準委員会(SC) 議事録 (案)

P11BWG-35-2-3：標準委員会本報告時のコメント対応について

P11BWG-35-2-4：「沸騰水型原子炉の水化学管理指針：20XX」改訂前後比較表

P11BWG-35-3-1：放射性よう素分析法

P11BWG-35-3-2：金属不純物濃度分析法

P11BWG-35-3-3：Co-60 濃度分析法

P11BWG-35-3-4：11/8 開催予定の第 26 回水化学管理分科会への対応について

P11BWG-35-4：水化学分科会の今後の予定について (案)

議事要旨

1) メンバーの確認

委員 10 名が出席しており、決議に必要な定足数を満たしていることが確認された。

2) 議事録要旨の確認

北島幹事から、第 34 回 BWR 水化学管理指針作業会議事要旨 (案) の説明があり、了承された。

3) P11BWG-35-2-1：一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会 第 33 回システム安全専門部
会議事録 (案) の報告

北島幹事より上述資料の説明があり、標準委員会にて説明することが決議されたことが報告された。

4) P11BWG-35-2-2：一般社団法人 日本原子力学会 第 62 回標準委員会(SC) 議事録 (案) の
報告、P11BWG-35-2-3:標準委員会本報告時のコメント対応について及び P11BWG-35-2-4:「沸
騰水型原子炉の水化学管理指針：20XX」改訂前後比較表の説明

北島幹事より上述の資料の説明があり、標準委員会審議の結果、「水化学管理の目的」と「標

準策定の目的」との対応について整合を取るよう指摘があった。その結果、後日、関村委員長に標準の修正案について説明を行い、了解を得たのちに決議投票に移行することが報告された。また、コメント対応案について説明あり、水化学管理指針の「4.2 管理項目及び診断項目」の直下に水化学管理の目的と項目の関係を追記する方向で改訂することとした。

5) P11BWG-35-3-1：放射性よう素分析法の説明

中野委員より、前回作業会時のコメントを反映した上述の資料の説明があった。作業会コメント（電位-pH 図差し替え、学会標準の書式に見直し）を反映したものを配信頂き、10/26（月）までに検討結果を中野委員に連絡する。

6) P11BWG-35-3-2：金属不純物濃度分析法の説明

植村委員より、前回作業会時のコメントを反映した上述の資料の説明があった。作業会コメント（イオン/クラッドは溶解性/不溶解性に用語を統一、サンプリングフォルダの種別記載の見直し他）を反映したものを配信頂き、10/26（月）までに各社検討結果を植村委員に連絡する。不溶解性物質については、粒径が一定ではないため精度の定義が困難である。フィルタ捕集効率についてメーカーに確認頂き、継続して検討する方針とした。

7) P11BWG-35-3-3：Co-60 濃度分析法の説明

河合委員より、前回作業会時のコメントを反映した上述の資料の説明があった。作業会コメント（試料採取はサンプリングに用語統一、精度についてはロット毎に捕集効率確認を追記他）を反映したものを配信頂き、10/26（月）までに各社検討結果を河合委員に連絡する。

8) P11BWG-35-3-4：11/8 開催予定の第 26 回水化学管理分科会への対応についての説明

北島幹事より、上述の資料の説明があった。分析標準は、上述の 3 種の分析法を単独に制定する方針とし、よう素分析法を先行して審議してもらう方向とした。次回の作業会で分科会向け資料の調整を行う。

9)次回水化学管理作業会は、11月5日(木)13:30より電中研大手町本部第3会議室にて開催する。

以上